



## 副作用について

抗菌薬の代表的な副作用として、以下があります。

- ▶過敏症（発疹、発熱、じんましんなど）
- ▶消化器症状（下痢、恶心、嘔吐など）
- ▶めまいや耳鳴りなど
- ▶けいれん（薬の飲み合わせによっては起きる可能 性が高まるので、飲み合わせの確認を）
- ▶尿の色調変化（一時的な変化で、服用が終了すると正常な色に戻ることがほとんどです）

気になる症状が現れたら医師や薬剤師へご相談を。



持続可能な医療の継続に向けてできること、という視点から抗菌薬の正しい使い方を考えました。以下の3点がとりわけ大切なことで、忘れないでください。

- 症状の有無に関わらず、医師から指示された抗菌薬はきちんと飲み切りましょう。
- 服用している薬と食べ物、飲み物との飲み合わせを確認しましょう。
- 以前に処方された抗菌薬を自己判断で飲まない。

## 洛和会東寺南病院 薬剤部

お問い合わせ

〒601-8441 京都市南区西九条南田町1  
TEL 075 (672) 7500(代)

洛和会東寺南病院 薬剤部では、入院患者さんはもちろん、外来患者さんの調剤も行っています。有効かつ安全な薬物治療の確保を目指し、薬剤管理指導業務や外来窓口業務といった日々の業務を通じて、副作用や相互作用の回避・軽減に努めています。

また、薬剤管理の向上のための一包化など、調剤技術を通した服薬支援も行っています。

後援

京都市・京都市教育委員会

編集・発行／洛和会企画広報部門 TEL 075 (594) 8488

(ラ-25) 22.12 2,000 Ⓛ

# 薬剤耐性の対策を考えた 抗菌薬の使い方

— 持続可能な医療の継続に向けてできること —



## らくわ健康教室って？

らくわ健康教室は、一般の方を対象に、医療や介護の専門家が健康に役立つ情報を分かりやすく解説する無料の講演会です。会場での講演会（現在は休止中）に加えて、Webでの動画配信や紙面で病気の治療や予防、介護や健康保険・介護保険などについて発信しています。  
(後援: 京都市・京都市教育委員会)

講 師

洛和会東寺南病院  
薬剤部 主席課長  
おおもり きよたか  
薬剤師 大森 清孝  
栄養サポートチーム専門療法士

夢、そして誇り。この街で...  
洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院 洛和会音羽記念病院  
洛和会音羽リハビリテーション病院 洛和会東寺南病院

## 薬剤耐性って何?

細菌の周りに抗菌薬があると、それに対する抵抗性を身に付けた細菌が多く生き残ります。このように細菌が抵抗性を身に付け、抗菌薬が効かなくなることを「薬剤耐性」といいます。

薬剤耐性を身に付けた細菌を薬剤耐性菌と言います。報道などで見たことがある「MRSA」や「多剤耐性綠膿菌」はこの一種です。

(抗菌薬は厳密にいうと抗生素質と少し意味が違うのですが、一般的には同じ意味です)



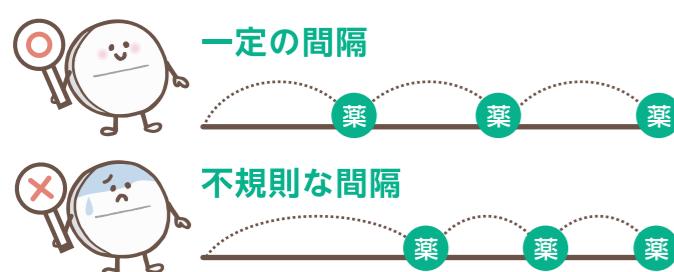
薬剤耐性菌によって感染症を起こすと抗菌薬が効きにくくなり、症状が長く続いたり、入院が必要になったりします。耐性菌は世界各地で増えており、抗菌薬を適切に使わなければ、将来多くの人が感染症で命を落すことになります。

## 薬剤耐性を起こさないための注意点

### 1 自己判断で飲む間隔を延ばさない

抗菌薬は種類によって1日1回飲む場合と複数回に分けて飲む場合があり、大きく分けて**時間依存型**と**濃度依存型**の2つのタイプがあります。

1日1回服用の薬剤も、飲む間隔が一定でないと、効果が弱くなることがあります。そのため、医師からの指示が毎食後で、食事の間隔が不規則な場合は、時間を決めて服用してもよいか、医師や薬剤師へご相談ください。



#### 時間 依存型

微生物の発育を阻止する最小濃度を超える血液中の抗菌薬の濃度が維持される時間が全体の何割に当たるかを目安にします。複数回に分けて飲む間隔を短くした方が、効果が高いといわれています。

#### 濃度 依存型

微生物の発育を阻止する最小濃度に対して血液中の抗菌薬の最高濃度を上げることを効果の目安にしています。抗菌薬を飲む間隔が延びると、血液中の濃度が微生物の発育を阻止する最小濃度を下回る時間が増え、効果が弱まります。

らくわ健康教室Web版で動画配信中。

気になる健康情報をYouTubeにて毎月更新しています。  
ぜひチャンネル登録を！

<http://www.rakuwa.or.jp/kenkoevent/rkk.html>



### 2 自己判断で飲むのを中止しない

症状が良くなつたとしても体内に細菌が残っていることがあるため、自己判断で薬を飲むことを中止しないでください。治療が終わらないうちに抗菌薬をやめると、きちんと治らずに感染症をぶり返してしまう恐れがあります。



### 3 食べ物、飲み物との飲み合わせの確認を

抗菌薬によっては、アルミニウムやマグネシウム、鉄、カルシウムなどを含む薬との飲み合わせにより効果が弱くなることがあります。牛乳やヨーグルトなどの乳製品やミネラルウォーターなどの飲み物にもこれらの成分が含まれていることがあります。1~4時間空ければ摂取可能なことが多いので、医師・薬剤師へご相談ください。飲み合わせの確認のためにも、受診時はお薬手帳を忘れずに持参ください。最近は、電子お薬手帳のアプリもあるのでご活用ください。



### 4 以前に処方された抗菌薬を自己判断で飲まない

以前に処方された抗菌薬の服用は、感染症の診断を困難にしたり、副作用が起きることがあります。

口や腸の中、皮膚には無害な細菌や有益な細菌（いわゆる善玉菌）が数多くいます。これらを「常在菌」と呼びますが、抗菌薬は常在菌を殺し下痢や腹痛を起こすことがあります。抗菌薬はウィルスに効果がありません。しんどいからといって、何でも抗菌薬が効くわけではなく、逆に薬剤耐性菌を生み出す原因にもなり得るのです。自己判断で飲むのはやめましょう。

